

はばたく JTサンダーズ広島



竹田 英司

練習再開に向けて深津旭弘、合田心平の両選手が自主トレ中。合田選手が「いつまで居座るんですか。さつさと島（西ノ島）に行ってください！」と私を見るなり笑顔で叫んだ。

「退部をきっかけに自分を成長させたい」と相変わらず、ひた向きな深津選手。以前、「深津は偉いな。私だったら自分が試合に出

◎ 新天地で大輪の花を

たいから、ライバルにはうそを教える」と言う。若い選手も勇気を出して俺に聞いてきたんだから、俺は本気で教える。若手を指導することも、結局は自分が試合に出るためなんだよ」と語ってくれたことを思い出した。

八子大輔選手の付き添いで通院した時は、男前の八子選手と一緒にいるだけで鼻高々だった。華があつて周囲から愛され、きつとビジネスの世界でも成功するだろう。久原大輝選手は私に似て落ち込みやすい性格なので心配だ。自戒を込めて言うが、自分が思うより恵まれているので、感謝しながら前進してほしい。

ロジャーズ海選手はJTの9人制バレーボール部で選手をしながら働くと聞いている。皆それぞれがJTサンダーズ広島からはばたき、置かれた場所で大輪の花を咲かせてほしい。

私の執筆は今回で最終回。夢半ばで私もはばたく。書き切れなかった選手との思い出や語り尽くせない思いは、またいつかどこかでお伝えしたい。今後ともわが子たちを温かく見守っていただきたい。

ご愛読ならびにお手紙、ありがとうございました。

(JT広島マネジャー)

はばたく日に同期の3人で記念撮影する井上慎一郎ⓐとロジャーズⓑ、井上航の各選手

